

## 真菅北小の学校要覧から

# 沿 革 の 概 要

- 明治5年学制発布以来、明治23年4月町村制の実施とともに中曽司、小槻、土橋、北妙法寺、地黄、曾我、出屋敷、五井、寺田、慈明寺、大谷の11大字を以て真菅村1村1校の小学校として設立される。
- 檀原市制実施により、檀原市立真菅小学校と改称される。
- 昭和33年度 4月1日、地区変更により磯城郡平野村飯高を檀原市に編入、本校区となる。
- 昭和35年度 4月1日、地区変更により大垣町、豊田町、檀原市に編入され、本校区となる。  
真菅地区14町を1校区として運営されてきたが、近年宅地造成が急速に進み、居住者が増加し、真菅地区1校での児童の収容が困難となり、昭和45年頃より分離新設校の必要が叫ばれてきた。
- 昭和48年度 9月、檀原市大垣町220番地の1に新校舎建設着工
- 昭和49年度 4月1日、真菅北小学校として、真菅小学校内に分離設立される。学級数17、児童数591名。校区は大垣町、豊田町、土橋町、小槻町、飯高町と中曽司町は近鉄線より北の居住者とする。  
9月、第1期工事完成（北館）同年9月2日新校舎へ移転、真菅小より実質分離する。  
2期工事（南館、体育館）同年2月完成  
2月10日、開校式典を挙行
- 昭和50年度 第3期工事（プール）完成
- 昭和52年度 奈良県体力づくり奨励校（3年計画）として「体力づくり」に取り組む。  
第4期工事 普通教室5、障害児学級教室1、計6教室 53年4月10日完成
- 昭和53年度 体育倉庫54年3月完成
- 昭和54年度 新2年 1学級減 情緒障害児学級（こべの子第2学級）新設
- 昭和55年度 プレハブ教室1設置  
バイパス工事に伴う管理フェンス、校門の設置、進入路舗装の完了（55.9～56.4）  
奈良県教育委員会より、体力づくり奨励に取り組む、表彰される。
- 昭和56年度 プレハブ教室1設置 バイパス緑地帯植樹
- 昭和57年度 プレハブ教室1撤去 バイパス歩道橋完工（57.4）
- 昭和58年度 新4年1学級減 プレハブ教室1撤去
- 昭和63年度 1月、体育館床面（フロア）全面補修  
5月、プールサイド全面補修、プール敷地内フェンス全面張替・プール機械室五方弁修理
- 平成5年度 20周年記念祭（5.11.3）
- 平成6年度 5月、プール内全面塗装と補修
- 平成7年度 1月、体育館屋根及び外面全面塗装、校舎（南館 北館）屋上の防水工事
- 平成8年度 普通教室床はりかえ
- 平成9年度 北校舎外壁塗装
- 平成11年度 2月、しょうがい者用トイレ設置
- 平成12年度 8月、南校舎、新校舎 外壁塗装  
9月、コンピュータ室整備及びコンピュータ設置  
3月、図書、視聴覚、図工室 床はりかえ
- 平成13年度 8月、防犯カメラ設置  
3月、音楽室床はりかえ  
しょうがい者用手洗い設置
- 平成15年度 30周年記念式典（15.11.23）各種記念事業実施
- 平成17年度 文部科学省より、全国学校体育研究優良校として表彰される。
- 平成18年度 体育館耐震補強工事  
大プール槽改修工事

